

彼女は、きっと、  
あなたのそばにいた



# あんのこと

河合優実 佐藤二朗 梶垣吾郎

河井青葉 広岡由里子 早見あかり

監督・脚本：入江悠

製作総指揮：木下直哉 企画：眞賀瑞穂 エグゼクティブプロデューサー：武部由実子 プロデューサー：谷川由希子 関友彦 佐藤味香苗 監製：安江千鶴 音楽プロデューサー：藤島夏一  
撮影：浦田秀穂 照明：常谷良男 録音：寿丸和徳 編集：佐藤崇 音響効果：大河原春 美術：堀川節子 スタジオ：印に魂 ヘアメイク：大倉理絵 金田順子  
助監督：岡部哲也 キャスティングディレクター：松野剛 制作担当：安達守 ラインプロデューサー：山田悠史  
製作：木下グループ 純牛倶楽部 制作プロダクション：ロギトワークス 配給：キタフィルムズ

© 2023「あんのこと」製作委員会 (R15) (準)

「少女の壮絶な人生を綴った新聞記事」を基に描く、衝撃の人間ドラマ



窓を開け、風を頬に受けて、  
その先に広がる世界を肌で感じた。  
そんな彼女の心を、  
現実が容赦なく削り取っていく

はじめて、  
生きよう、と思った。

21歳の主人公・杏は、幼い頃から母親に暴力を振るわれ、十代半ばから売春を強いられて、過酷な人生を送ってきた。ある日、覚醒剤使用容疑で取り調べを受けた彼女は、多々羅という変わった刑事と出会う。大人を信用したことのない杏だが、なんの見返りも求めず就職を支援し、ありのままを受け入れてくれる多々羅に、次第に心を開いていく。週刊誌記者の桐野は、「多々羅が薬物更生者の自助グループを私物化し、参加者の女性に関係を強いている」というリークを得て、慎重に取材を進めていた。ちょうどその頃、新型コロナウイルスが出現。杏がやっと手にした居場所や人とのつながりは、あっという間に失われてしまう。行く手を閉ざされ、孤立して苦しむ杏。そんなある朝、身を寄せていたシェルトーの隣人から思いがけない頼みごとをされる――。

## 透徹した眼差しから浮かぶ この社会の歪み、生の美しさ

2020年の日本で現実起きた事件をモチーフに、『SRサイタマラッパー』シリーズや『AI崩壊』の入江悠監督が映像化。19年のデビュー以来、数多の映画賞に輝き、TBS「不適切にもほどがある!」での熱演が話題となった最注目俳優・河合優実が、底辺から抜け出そうともがく主人公・杏を演じる。また、杏に更正の道を開こうとするベテラン刑事に佐藤二朗。

2人取材するジャーナリストに稲垣吾郎と、実力派が脇を固めた。さらに制作陣には、第75回カンヌ国際映画祭で「カメラドール特別表彰」を受賞した話題作『PLAN 75』(早川千絵監督)のスタッフたちが集結。本作は杏という女性を通して、この社会の歪みを容赦なく突きつける。同時に、単なる社会派ドラマの枠を超えて、生きようとする彼女の意志、その目がたしかに見た美しい瞬間も描き出す。そして静かに、観客に訴えかける。杏はたしかに、あなたの傍にいたのだと。

